

平成25年7月25日

「為替事務集中クラウドサービス」に関する基本合意書の締結について ～地銀初 為替OCRシステムのクラウドサービス共同利用～

株式会社 千葉興業銀行（頭取 青柳 俊一）は、次期為替OCRシステムについて、沖電気工業株式会社（代表取締役社長 川崎 秀一／本社：港区虎ノ門、以下 沖電気工業）が提供する「為替事務集中クラウドサービス」を採用することを決定いたしましたのでお知らせします。

記

1. 次期為替OCRシステムについて

為替OCRシステムとは、営業店で受付けた振込依頼書をイメージ化して事務センターに送付し、事務センターが代行発信を行うことで為替の振込処理を効率化する事務集中システムです。このたび、次期為替OCRシステムとして、システム開発・運用費の低減化のために、沖電気工業が提供する「為替事務集中クラウドサービス」（『EXaaS 為替OCRサービス』）を採用することを決定しました。

2. 「為替事務集中クラウドサービス」の概要について

「為替事務集中クラウドサービス」（『EXaaS 為替OCRサービス』）とは、自行内に設備を保有せず、沖電気工業が提供する為替OCRシステムの機能を利用できるサービスです。

本サービスは、株式会社 足利銀行（頭取 藤澤 智／本店 栃木県宇都宮市）および沖電気工業と共同検討を実施し、処理効率や運用面の一層の向上を図ることができる仕様となっております。なお、為替OCRシステムのクラウドサービス共同利用は地銀初となります。

『EXaaS 為替OCRサービス』導入のメリット

- 為替システムの仕様統一によりシステム開発コストの低減化
- 各行の為替システムを比較分析した仕様統一により、為替事務の更なる効率化
- クラウドサービスの共同利用により、運用コスト（ランニング費用）の低減化
- 大災害に備えてのシステムバックアップ体制を今後も共同検討

3. 基本合意書の締結について

今般、本サービスの利用に際し、当行、足利銀行および沖電気工業の3者において、共同検討のうえ仕様を確定させ、サービスの提供を受ける旨の基本合意書を締結しました。

4. サービスの利用開始時期について

平成26年頃を予定しております。

当行は今後も一層お客さまにご満足いただけるよう、事務品質の向上に取り組んでまいります。

以上